

大学コンソーシアム富山 令和元年度「地域ライフプラン」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和元年度単位互換開講科目 「地域ライフプラン」
実施機関名	富山大学
趣旨・目的	富山県内の地方公共団体や企業・団体等からゲストスピーカーを招き、富山で生きることをさまざまな視点から紹介していただき、ゲストスピーカーとのディスカッションを通して理解を深める。ワークショップを行って他の受講者と考えを共有し、更に地域の魅力や課題の理解を深め、自らのライフプランを想定、作成する。
開催日時	令和元年8月20日（火）、8月27日（火）、9月3日（火）、9月10日（火）、9月17日（火）
開催場所	富山大学五福キャンパス（富山市五福3190）
参加人数	学生 42名 【内訳】・富山大学（40名） ・富山高等専門学校（2名）
事業内容	<p>< 1日目 8月20日（火） > 第1回（2限） ガイダンス 第2回（3限） ライフプラン分析，ファイナンシャル分析 第3回（4限） 地域で生きる</p> <p>< 2日目 8月27日（火） > 第4回（2限） ライフプランのヒント「子育て」（舟橋村生活環境課） 第5回（3限） 企業による地方創生の取組（西日本電信電話（株）） 第6回（4限） ライフプランのヒント「高齢化する社会」（立山町健康福祉課）</p> <p>< 3日目 9月3日（火） > 第7回（2限） 「富山（魚津市）で暮らす」（魚津市企画政策課） 第8回（3限） 「富山（高岡市）で暮らす」（金屋町元気プロジェクト） 第9回（4限） 「富山（砺波市）で暮らす」（砺波市企画調整課）</p> <p>< 4日目 9月10日（火） > 第10回（2限） 「富山で働く」（企業・団体に働く）（富山県内企業など）</p>

第11～12回(3, 4限) Tターンカフェ(富山県内企業の講師など)
富山県内企業の講師と、ワークショップ形式で「働く」ことについて意見交換
(五福キャンパス生協など, 13:00～16:00)

< 5日目 9月17日(火) >

第13回(2限) 「富山(朝日町)で働く」(家印(株))

第14回(3限) 富山を選ぶ(富山県しごと・くらしアピール事業)
(富山県他)

第15回(4限) まとめ「私のライフプラン」



9月10日 担当教員: 塩見



第10回 「富山で働く」

大学コンソーシアム富山 令和元年度「環境経済学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和元年度共同授業科目「環境経済学」
実施機関	富山国際大学
趣旨・目的	環境問題について経済的な視点からの説明、環境の改善に求められる具体的な対策について提案することができ、国際問題のみならず身近な暮らしにおける環境問題についてレポートにまとめることができる力を身につける。
開催日時	令和元年8月19日(月)～22日(木)の4日間 9:00～16:30
開催場所	富山駅前 CiC ビル 5階 駅前キャンパス研修室 1(富山市新富町 1-2-3) ※8月20日のみ CiC ビル 3階 富山国際学園サテライトオフィスで実施
参加人数	学生 20名 【内訳】・富山大学 1名 ・富山短期大学 1名 ・富山国際大学 5名 ・高岡法科大学 7名 ・富山高等専門学校 6名
事業内容	<p>【授業概要】</p> <p>今日、経済発展を目指していた時代から、私たちの身近な暮らしにおける環境問題あるいは地球規模の環境問題への取組みが極めて重要な政策として求められている。本講義では、環境問題対し経済学においてはどのように取り上げられ、また目指している政策対応を中心に取り上げる。また身近な環境問題から国際社会における環境問題についての具体的な事例を紹介する。深刻さを増す環境問題について、経済学的な見地から、負担と公正あるいは市場による問題解決の可能性、有効性について取り上げる。富山県における具体的な環境問題について、富山県農林水産総合技術センター農業研究所へ実習(フィールドワーク)を行う。地球温暖化に代表される環境問題が、我々の身近な問題であるとの認識を新たにすることを目的としている。</p> <p>第1日目：8月19日(月)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.環境問題と経済学について 2.「市場の失敗」としての環境問題(1) 3.「市場の失敗」としての環境問題(2) 4.環境問題と交渉による解決(1) <p>第2日目：8月20日(火)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5.環境問題と交渉による解決(2) 6.環境問題と交渉による解決(3) 7.企業活動と環境問題(1) 8.企業活動と環境問題(2) <p>第3日目：8月21日(水)</p> <ol style="list-style-type: none"> 9.ごみ処理問題における理論と政策対応 10.廃棄物問題における理論と政策対応 11.国際社会における環境問題(1) 12.国際社会における環境問題(2) <p>第4日目：8月22日(木)</p> <ol style="list-style-type: none"> 13.富山県農林水産総合技術センター農業研究所訪問 (農業研究所にて講義あり)

14～15.講義内容総括、レポート提出

【実施写真】




4日間の講義の様子




8月22日(木)富山県農業研究所にて講義を受ける様子

大学コンソーシアム富山 令和元年度「航空機入門」実施報告

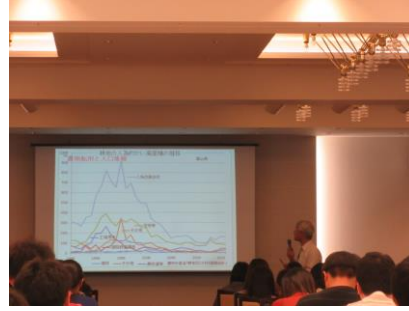
事業名	航空機入門
実施機関名	富山県立大学
趣旨・目的	航空機のしくみや開発・生産等に関する講座を開講するもの。
開催日時	令和元年8月27日(火) 10時30分～16時10分 8月28日(水) 10時30分～16時10分 8月29日(木) 10時30分～14時30分
開催場所	CiCビル 5階研修室1 (富山市新富町1-2-3)
参加人数	23名 (富山県立大学4名、富山大学2名、富山高等専門学校5名、一般5名、外部講師4名、担当教員1名、職員2名)
事業内容	<p>航空機のしくみや開発、生産等、航空機の技術と製造に関わる幅広い知識を習得し、航空機製造業や航空機運送事業について理解を深める。</p>  <p>富山県立大学 戸田客員教授による講義風景</p>

大学コンソーシアム富山
令和元年度「IRT(インフォメーション・アンド・ロボット・テクノロジー)と看護・介護」実施報告

事業名	IRT(インフォメーション・アンド・ロボット・テクノロジー)と看護・介護
実施機関名	富山県立大学
趣旨・目的	情報技術とロボット技術(IRT)による看護・介護支援に関する講座を開講するもの。
開催日時	令和元年8月29日(木) 9時40分～17時00分 8月30日(金) 9時40分～17時00分
開催場所	CiCビル 5階研修室2 (富山市新富町1-2-3)
参加人数	28名 (富山県立大学7名、富山大学1名、富山高等専門学校7名、一般3名、外部講師7名、担当教員1名、職員2名)
事業内容	<p>IRTと看護・介護の基礎を学び、生体計測、人工知能といった情報技術による看護・介護支援、運動訓練や自立のためのロボット技術による看護・介護支援について理解を深める。</p>  <p>日本福祉力検定協会 長田企画室長による講義風景</p>

大学コンソーシアム富山 令和元年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和元年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学
趣旨・目的	富山の歴史・文化、富山湾、立山連峰に代表される自然環境、そしてものづくりをはじめとする産業など、データやフィールドワーク(現地研修)を通して「とやま」を知ること、そして21世紀の富山や世界の姿を展望する。
開催日時	令和元年9月2日(月)～5日(木)の4日間 1日4コマ×4日間の集中講義
開催場所	富山県民会館8階バンケットホール、富山県農協会館8階大ホール
参加人数	学生148名 【内訳】・富山大学26名 ・富山県立大学79名 ・高岡法科大学9名 ・富山高等専門学校6名 ・富山国際大学28名
事業内容	<p>【2019年度概要】</p> <p>2016年の新幹線の開業以来、国内外からの観光客をはじめ来県者が増えている。一方、少子高齢化が一段と進み、地方の活力低下が懸念されることから、2018年より富山県新総合計画「元気とやま創造計画ーとやま新時代へ 新たな挑戦ー」がスタートした。</p> <p>今年度のとやま地域学のテーマは「富山の魅力と宝もの発見」とし、県内大学生の皆さんに富山への理解を深めてもらおうと企画した。地元住民の専門家から、「データから見る越中・富山」、「豊かな森・里・川・海の自然環境」の視点で学び、富山の魅力と課題を理解し、一人ひとりが輝く富山の地域づくりについて考えることを目指す。</p> <p>第1日目：9月2日(月)</p> <p>①オリエンテーション</p>  <p>②富山の政策と未来を語る (富山県知事 石井 隆一 氏)</p>   <p>③豊かな富山</p> <p>④大転換・富山の戦略 (富山地域学研究所長(元富山国際大学教授)浜松 誠二 氏)</p>



第2日目：9月3日(火)

⑤越中(富山県)の歴史—大伴家持と富山

⑥越中(富山県)の歴史—中世の社会

⑦越中(富山県)の歴史—富山藩の大名たち

(前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原寛 氏)



⑧北前船と富山

(富山県総合政策局企画調整室 参事 松島 吉信 氏)



第3日目：9月4日(水)

⑨富山の自然—富山の特産サクラマス—

(富山県農林水産総合技術センター水産研究所 所長 田子 泰彦 氏)



⑩富山の自然と防災

(富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇 氏)



⑪富山の自然と地域づくり

(早稲田大学名誉教授 宮口 侗迪 氏)



⑫富山の自然—おいしい水の秘密

(富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子 氏)



第4日目：9月5日(木)

⑬～⑮現地研修

立山カルデラ砂防博物館、広貫堂資料館、高岡市万葉歴史館
(富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子 氏)



立山カルデラ博物館にて



広貫堂資料館にて



高岡市万葉歴史館にて

大学コンソーシアム富山 令和元年度「富山学」実施報告

<p>事業名</p>	<p>大学コンソーシアム富山 令和元年度単位互換開講科目 「富山学」</p>
<p>実施機関名</p>	<p>富山大学</p>
<p>趣旨・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。 ・フィールドワークや地域のひとびととの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。 ・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。
<p>開催日時</p>	<p>令和元年9月3日（火）、9月10日（火）、9月17日（火）、9月24日（火）</p>
<p>開催場所</p>	<p>大学コンソーシアム富山駅前キャンパス研修室2</p>
<p>参加人数</p>	<p>学生29名 【内訳】・富山大学（26名） ・富山高等専門学校（3名）</p>
<p>事業内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（1～3回 9月3日 2限～4限） 講義全体の進め方、成績評価等についての解説 世界の中の富山、日本の中の富山：富山県の基礎情報 現地見学の注意事項 2. 富山の自然基盤（水循環） 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ 3. 富山の自然基盤（植生） 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する 4～7. 富山の自然基盤（地形） 【4時間分】（9月10日 1限～4限） 立山現地見学 室堂周辺 現地講師（予定）：環境省立山自然保護官事務所自然保護官ほか

8～1 1. 富山の生活文化 【4時間分】 (9月17日 1限～4限)

庄川流域現地見学 世界遺産五箇山合掌造り集落でのフィールドワーク (世界遺産を維持するための取り組みと茅場管理体験) ～砺波平野散村景観の文化的価値について

現地講師 (予定) : 五箇山自然文化研究会会員

1 2. 富山の自然と文化の関わり (1 2～1 5回 9月24日 2限～5限)

富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する

1 3. 富山の歴史と文化 (山の文化と信仰)

立山山系と白山山系の両霊山を擁する富山には、信仰を背景とした多様で奥深い山村生活の文化が根付いている。富山の基層に流れる山の文化について解説する。

1 4. 富山の歴史と文化 (海の文化とネットワーク)

日本海に面した富山は海を通して他地域ともつながりあってきた。そのネットワークは国内はもちろん海外にもつながっている。富山の生活や産業を支えてきた外の世界とのネットワークについて解説する。

1 5. 総括

フィールドワークにもとづくディスカッションと「富山学」のまとめ



第3回「富山の自然基盤（植生）」
担当教員：奥



立山現地見学



五箇山合掌造り集落見学

大学コンソーシアム富山 2019 年度「とやまの食文化」実施報告

事業名	単位互換科目 共同授業科目「とやまの食文化」
実施機関名	富山短期大学
趣旨・目的	<p>先人の知恵により育まれた「とやまの食文化」について、とやまの豊かな自然環境を再発見しながら地域の郷土料理を味わい、食体験を通じて、富山短期大学の講師等により、集中講義形式で開講する。</p> <p>とやまの食の魅力を知り、「伝統的な地域（とやま）の食文化を次世代にどのように伝えていったらよいか」をテーマにワークショップ形式により意見交換を行い発表し、「とやまの食文化」について知識や理解を深めることを目的とする。</p>
開催日時	<p>令和元年 9 月 9 日(月)、11 日(水)、12 日(木) 3 日間集中授業</p> <p>9 日：9 時 10 分～16 時 20 分</p> <p>11 日：9 時 10 分～14 時 40 分</p> <p>12 日：9 時 10 分～10 時 40 分</p>
開催場所	<p>【9 月 9 日】</p> <p>午前：大学コンソーシアム富山駅前キャンパス CiC ビル 5F 研修室 1 (富山市新富町 1-2-3)</p> <p>午後：梅かまミュージアム U-meい 館 (富山市水橋肘崎 482-8)</p> <p>【9 月 11 日】</p> <p>富山短期大学 調理実習室 F108・普通教室 F205 (富山市願海寺水口 444)</p> <p>【9 月 12 日】</p> <p>大学コンソーシアム富山駅前キャンパス CiC ビル 5F 研修室 1 (富山市新富町 1-2-3)</p>
参加人数	<p>(1)参加学生 35 名 富山大学 3 名 富山県立大学 8 名 富山高等専門学校 3 名 富山福祉短期大学 2 名 (9/11 のみ出席の学生含む) 富山短期大学 19 名</p> <p>(2)教員 (講師) 5 名 富山短期大学 3 名 外部講師 2 名</p> <p>(3)職員 3 名 富山短期大学 (受付業務) 3 名</p>

事業内容

【9月9日】

第1回 「ガイダンス・とやまの食文化総論」

講師 富山短期大学 深井 康子 教授



第2回 「とやまの魚、そのおいしさの秘密と健康性」

講師 富山短期大学 竹内 弘幸 教授



第3回 「かまぼこ作りの体験」 梅かまミュージアム U-meい 館

5色の魚のすりみを使ってオリジナルで素敵な鯛のかまぼこを作りました。かまぼこを蒸している間に高野様から富山のかまぼこの歴史や特徴などの講義を聞きました。



第4回 「かまぼこの歴史と展示見学」

講師 株梅かま顧問 高野 降司 氏



【9月11日】

第5回 「とやまの米・魚の調理」

第6回 「野菜や野草の調理」

講師 富山短期大学 深井 康子 教授
中根 一恵 講師



【9月11日】



みょうがずし：富山市（旧大山町）の料理
熱々のずし飯に酢漬けたマス、みょうが、しそを
混ぜこんだおすし

つみれ汁：今回の魚はみぎすとたらでつみれにしました。
いわしでよくつみれにする

白エビのかき揚げ：「富山湾の宝石」といわれる白エビのかき揚げで
平らにして揚げるのがコツ

かぶらごき：富山県東部の富山市、上市町、魚津市などで食べられる。
かぶらの歯ごたえと甘さに大根おろしの辛みがよく合い
しょう油をかけていただく。秋から冬に手軽なおかず。

やきつけ：もち米とよもぎをこねて焼くおやつ。砂糖が入った味噌だ
れをつけ白ごまをまぶす。

【9月11日】

第7回 「砺波地域の食文化と伝承料理」

講師 農家レストラン大門・食の匠 境 嘉代子 氏



「よごしキッシュ」
をいただきました。

【9月12日】

第8回 ワークショップ「次世代伝え継ぐ とやまの食文化」

講師 富山短期大学 深井 康子 教授

中根 一恵 講師

第1回から第7回の学んだことをもとに、意見を出し合って次の2点について考えてみました。

- ① とやまの食文化の魅力とは
- ② 「伝統的などやま（地域）の食文化を次世代にどのように伝えたらよいか」、あなた自身はどのような手段で発信したいか、グループでまとめてみましょう。





ワークショップ




グループ発表

<受講生の感想>

- ・他の大学の方とディスカッションや調理をすることができ、大変楽しかったです。また他県から来て、富山の食文化に触れることがなかったため、富山に暮らすあと2年半が更に面白くなりそうだと感じた。
- ・梅かまや実習など体験型の授業が多く、とても楽しくあっという間の3日間でした。
- ・今回受講して今まで知らなかった料理をたくさん学ぶことができました。より富山について深く知れたので良かったです。習った料理を家でも作ってみたいと思います。
- ・受講する前と今ではとやまの食文化を広く発信したいという気持ちがとても強くなっていて、何か企画やイベントに参加してみたいと思うようになりました。
- ・和食について調べてみようという機会はあったが、とやまの食文化について調べる機会はあまりなかったのでいい話を多く聞かせていただき楽しかった。たとえばかまぼこ、伝承料理。

大学コンソーシアム富山 令和元年度単位互換開講科目
「現代社会と法」実施報告

事業名	<p>大学コンソーシアム富山 令和元年度単位互換開講科目 「現代社会と法」（地域産業と市場・グローバル経済）</p>
実施機関名	高岡法科大学
趣旨・目的	<p>本講義は、生産場所、販売市場の主たる部分を地域におく産業を「地域産業」と位置づけ、その存立構造、問題点、展開方向などを市場とグローバル経済との関連で検討する。</p> <p>具体的には、①地方の人口減少と外国人労働者、②地域産業における経営資源管理、③地域産業の存立構造、④グローバル経済と地域経済、⑤アジアの経済発展と中小企業というテーマを切り口に、地域産業の典型である農業や水産業、食品工業(酒造業)、これらの担い手である家族経営・中小企業をとりまく現実、経営の実態や取組み等を、受講者とともに考えたい。</p> <p>また、本講義は大学コンソーシアム富山の事業として他大学学生及び県民にも広く聴講を呼びかけることで、地域貢献の一環としての役割も併せもちます。</p>
開催日時	令和元年9月9日（月）～9月13日（金）
開催場所	高岡法科大学 大講義室1 高岡市戸出石代 307-3
参加人数	<p>学生計 35 名：富山大学（1 名）・富山県立大学（1 名）・富山高等専門学校（6 名）・高岡法科大学（27 名） その他・一般受講者 計 27 名 1 日合計約 62 名（日ごとに人数を算出）</p>
事業内容	<p>『地方の人口減少と外国人労働者－労働力不足をどう考えるか－』 第 1・2 回 地方の人口減少と外国人労働者－農業の労働力不足問題を中心に考える－ 講師：北海学園大学経済学部 教授 宮入 隆 氏 第 3 回 海外事情と外国人との共生を考える 講師：公益社団法人国際人材革新機構 代表理事 CEO 樋口 公人 氏</p>  <p>『地域産業における経営資源管理とその方法－水産業をめぐる－』 第 4 回 我が国の水産業の動向－漁協を中心に－ 第 5 回 今般の水産政策の改革と漁協</p>

講師：株式会社農林中金総合研究所 研究員 亀岡 紘平 氏
第6回 富山県水産業の現状－地域水産業における取組み－
講師：富山県漁業協同組合連合会 代表理事専務 谷 宣之 氏



『地域産業の存立構造』

第7回 SAYS FARM における取組み－北陸地方におけるワイン造り－

講師：釣屋ホールディングス株式会社 代表取締役 釣 吉範 氏

第8回 若鶴酒造における取組み－伝統と革新－

講師：若鶴酒造株式市場戦略企画グループ 企画マネージャー 中西 真紀子 氏

第9回 酒造業を取り巻く現状と課題-国内市場の減少と輸出訴状の動向から-

講師：高岡法科大学 准教授 石川 啓雅 氏



『グローバル経済と地域経済』

第10・11回 経済のグローバル化と地域－地域経済を持続させる道－

講師：京都橘大学現代ビジネス学部 教授 岡田 知弘 氏

第12回 グローバル化・市場志向型農政の理念と現実－地域農業の実態を踏まえて－

講師：公益社団法人富山県地方自治研究センター 義浦 英昭 氏



『アジアの経済発展と中小企業』

第 13 回 日本における中小企業の現状と課題ーグローバル経済との向き合い方ー

講師：高岡法科大学 准教授 石川 啓雅 氏

第 14・15 回 東アジア経済のダイナミズムとジレンマー日本、韓国、中国、台湾の関係から考えるー

講師：松山大学経済学部 教授 加藤 晃一 氏



・レポート指導：高岡法科大学 教授 野口 教子氏
※ 学生のみ

大学コンソーシアム富山 令和元年度「産業観光学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和元年度単位互換開講科目 「産業観光学」
実施機関名	富山大学
趣旨・目的	地域資源に触れることで、地域・企業が一体となって支えてきた富山県の産業の意義と魅力を知り、地域で働く人々の姿を通じて、地域が求める人材像がどのようなものかを理解することで、産業観光が富山の地域創生に果たす役割を理解する。
開催日時	令和元年8月23日（金）、8月30日（金）、9月4日（水）～9月6日（金）から1日選択、9月13日（金）、9月20日（金）
開催場所	富山大学五福キャンパス（富山市五福3190）
参加人数	学生65名 【内訳】・富山大学（59名） ・高岡法科大学（6名）
事業内容	<p>< 1日目 8月23日（金） >（2限）（3限）（4限）</p> <p>第1回 科目ガイダンス、「産業観光学のコンセプト」 （地域連携戦略室）</p> <p>第2回 「産業観光概論」 （非常勤講師 高木 繁雄 富山商工会議所会頭）</p> <p>第3回 「産業構造論」 （副学長・経済学部教授 中村 和之）</p> <p>< 2日目 8月30日（金） >（2限）（3限）（4限）</p> <p>第4回 「産業観光の取組①」 （株式会社能作 代表取締役社長 能作 克治 様）</p> <p>第5回 「産業観光の意義と位置」 （東海旅客鉄道株式会社 相談役 須田 寛 様）</p> <p>第6回 「産業観光モデルコース作成実習①」 （地域連携戦略室）</p> <p>< 3日目 >（以下の3コースのバスツアーのうちいずれか1つに参加すること。）</p> <p>第7～10回 産業観光視察（県内で産業観光を展開する企業等の視察，4回分）</p> <p>■Aコース：小矢部市方面（小矢部市） 9月4日（水）実施</p>

8:30 五福キャンパス出発→見学先（小矢部市役所，北栄電設（株），（株）ゴールドウイン，LIXIL 小矢部工場・（株）新日軽北陸，クロスランド小矢部）→18:00 五福キャンパス帰着・解散（予定）

■B コース：富山市方面（富山商工会議所）

9月5日（木）実施

8:30 五福キャンパス出発→見学先（（株）北陸銀行，朝日印刷（株），（株）北日本新聞社，（株）源）→17:00 五福キャンパス帰着・解散（予定）

■C コース：呉西方面

9月6日（金）実施（大越仏壇での金箔貼り代500円必要）

8:30 五福キャンパス出発→（株）大越仏壇→（株）能作→山町筋（昼食・自由時間）→若鶴酒造（株）→17:00 五福キャンパス帰着・解散

< 4日目 9月13日（金） >（2限）（3限）（4限）

第11回 「産業観光モデルコース作成実習②」（地域連携戦略室）

第12回 「産業観光モデルコース作成実習②」（地域連携戦略室）

第13回 「産業観光モデルコース作成実習③」（地域連携戦略室，富山商工会議所）

< 5日目 9月20日（金） >（2限）（3限）

第14回 「産業観光の取組②」

（黒部ツーリズム株式会社 社長 水島 悟司 様）

第15回 「産業観光からの学び」

産業観光モデルコース結果発表・表彰，産業観光学のまとめ
（富山商工会議所会頭 高木 繁雄 様 他）



初回ガイダンス




Aコース（小矢部市方面）バスツアー



Cコース（呉西方面）バスツアー

大学コンソーシアム富山 令和元年度「富山とくすり」実施報告

事業名	富山とくすり
実施機関名	富山県立大学
趣旨・目的	薬の歴史や働き、製造、開発に関する講座を開講するもの。
開催日時	令和元年9月24日（火）9時40分～17時00分 9月25日（水）9時40分～17時00分
開催場所	CiCビル 5階研修室1 （富山市新富町1-2-3）
参加人数	22名 （富山県立大学6名、富山大学3名、富山高等専門学校2名、一般2名、外部講師7名、担当教員1名、職員1名）
事業内容	<p>くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働き（剤型、DDS、作用機序等）について理解を深める。</p>  <p>神戸学院大学 福森名誉教授による講義</p>

大学コンソーシアム富山 令和元年度単位互換開講科目
「災害救援ボランティア論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和元年度単位互換開講科目 「災害救援ボランティア論」
実施機関名	富山大学
趣旨・目的	災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに，富山県の災害と防災対策，富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて，地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供する。
開催日時	令和2年2月17日（月）から20日（木）まで
開催場所	富山大学五福キャンパス（富山市五福3190）
参加人数	学生 71 名 【内訳】・富山大学（56名） ・富山県立大学（8名） ・高岡法科大学（7名）
事業内容	<p>2月17日（月）</p> <p>第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学 （富山大学大学院医学薬学研究部教授 奥寺 敬 氏）</p> <p>第2回 富山県の防災対策 （富山県防災・危機管理課課長 辻井 秀幸 氏）</p> <p>第3回 災害ボランティア活動の基本 （災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 氏）</p> <p>第4回 トレーニング 倒れている人をどう救うか （富山大学人間発達科学部教授 布村 忠弘 氏， 災害救援ボランティア推進委員会主任・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏）</p> <p>2月18日（火）</p> <p>第5回 被災地での安全衛生とコミュニケーション （災害救援ボランティア推進委員会主任・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏）</p> <p>第6回 災害時のリーダーシップとチームビルディング</p>

(災害救援ボランティア推進委員会主任・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏)
第7回 災害時の医療救援活動
(富山大学大学院医学薬学研究部准教授 若杉 雅浩 氏)

2月19日 (水)

第8回 地形図から災害を予測する
(富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏)

第9回 防災机上訓練 DIG・洪水ハザードマップの活用
(富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏)

第10・11回 富山県広域防災センター四季防災館で講義・体験
学習
(四季防災館)

2月20日 (木)

第12回 自然について学び・深めて災害対策
(富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏)

第13回 大学における災害対策
(富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏)

第14・15回 普通救命講習 (心肺蘇生法, AEDの使用法, 止血法)
(富山市消防局)



トレーニング 倒れている人をどう救うか



暴風雨体験 (四季防災館)



グループワーク